



## 伝統文化の継承

1月12日(土)、立石自治会館では新春恒例の「鬼の金剛」と「どんど焼き」が行われました。当日は、寒い生憎の天気で参加者は少なかつたものの、伝統の行事に想いを馳せながら、今年一年の無病息災と家内安全を祈願しました。

「どんど焼き」は、いまでも町内各地で自治会主催により開催されていますが、「鬼の金剛」を継承している地域は、おそらく町内で立石だけでしょう。山岡清重さん(上組)、松本義明さん(天神上)が毎年大きな草鞋を編み、吊し物を供えて数珠念仏をあげます。この念仏は、その昔、尾首・中組地区で継承されていたとされるもので、大きな数珠を使って唱えるのが特徴。念仏は、仏教における行のひとつで、仏の姿や功徳を思い描きながら「南無阿弥陀仏」を口に唱えることが一般的とされています。この大きな数珠は、おそらく何回も念仏を唱えるので、その数取りに使われたのでしょう。

今なお、こうして受け継がれる伝統文化。一度途絶えてしまうと復活が難しいだけに、何とかして後世に伝えていきたいものですね。



# 特集！

## 立石の明日を考える

# 新春座談会を開催

### 過疎化・高齢化の中で どう生き残っていくのかー。

1月11日(金)午後7時から自治会館において、稲本隆壽内子町長を講師に招き、立石の明日を考える「新春座談会」が開催されました。地域づくり懇談会のあり方が問われる中、立石自治会では、初の事業として開催したもので、平成27年1月に策定した「第2期地域づくり計画書」の検証を行うとともに、残された計画年内に何をすべきかについて、35名の参加者が互いに議論を交わしました。

開会にあたり水岡芳廣自治会長は「過疎化、少子高齢化の波を受け、ここ近年は自治会活動への参加者が固定化し、どの活動も停滞気味」。第2期地域づくり計画の折り返し地点に立ちたいま、改めてこれまでの取り組みを検証するとともに、立石の活性化のために、自治会本来のあり方である住民主体の地域づくりについて議論を深めた」と挨拶。続いて、「立石地区の現状と課題、明日への展望」地域づくり計画の検証から」と題し、宮岡高德事務局長が、これからの立石自治会における活性化等について問題提起

を行いました。(以下、その概要を掲載します。)

それを受け、稲本隆壽町長から、まちづくりの公約に掲げる4つの取り組みについて講演をいただきました。

座談会に参加した松山大学に通う本田侑香さん(天神上)は、自分を育ててくれた地域への思いを語り、活性化の為に頑張りたいと力強い抱負を語ってくれました。

### ◆ ◆ ◆ 立石の現状

立石自治会では、人口減少に歯止めが掛からず、昭和35年、1千人を超していた人口は、55

年後の平成27年には約20%の211人にまで減少。世帯数も半減した。このまま放置すれば、いずれは消滅集落に転ずる。平成30

年11月末日現在の立石地区の人口は、男83人、女106人、合計189人で、世帯数は91世帯。人口構成は典型的な逆ピラミッド型をしており、65歳以上の「高齢化率」は59・2%。更に、60歳以上の「準高齢化率」は71・4%となり、4人に3人が準高齢者

以上である。

また、65歳以上の独居世帯、構成員全員が65歳以上の世帯、中学生以下の児童生徒がいる世帯をみると、約30%の世帯が独居高齢者、約25%が高齢者のみの世帯となり、合わせて55%が高齢者世帯である。中学生以下の児童生徒がいる世帯は、全体のわずか3%である。

次に、独居高齢者世帯、高齢者のみの世帯それぞれに支援者がどこに住んでいるかを見る。

その結果、高齢者世帯の約70%は町外に住んでいる結果となった。支援の形、関わり方はそれぞれだが、もしもの時の対応に不安を感じる結果にもなった。

### ■ 6つの危機

#### ① 組織力の低下

自治会・大字の役員の選出が困難、一度役に就くとなかなか替われない、一人何役も

#### ② 交通弱者の増加

運転免許証の自主返納、地域からの店舗消失、限られた曜日でのバスの利用

#### ③ 産業の衰退

後継者がいない・残らない、

## 27 愛護班でスケートを満喫！

1月27日(日)、松山スポーツセンターでスケートを楽しみました。参加したのは、中岡家6人、三浦家4人、上岩家2人の計12人。初スケートの中岡晨八君は、怖々とスタートしましたが、ご両親の励ましやお兄ちゃんお姉ちゃんの手助けもあり、2時間後には笑顔で1人で滑れるようになっていました。他の子供たちも転びながら、スケートを満喫していました。お昼は、回転寿司でお腹いっぱい！(満足う～)



増え続ける有害鳥獣被害、経営意欲の減退

④ 伝統芸能・文化の消滅

獅子舞、奴舞等民俗文化の後継者不足、「鬼の金剛」「どんど焼き」等の伝統行事に対する思いの希薄化

⑤ 景観破壊

耕作放棄地の増加、空き家の増加、道作りなどの共同作業が困難

⑥ 地域防災力の低下

要援護者の増加、消防団員の確保が困難、地域内の各施設の健全な保全が困難

■ 4つの提案

① 助け合いの仕組みづくり

第2期計画にある「草刈り隊(仮称)」を更に発展させた組織(企業組合や農業法人等)の立ち上げを検討する。併せて、高齢者の移動手段の確保も考えなければならぬ大きな課題。NPOによるコミュニティバスの運行を調査研究したい。

② 外部人材活用と移住定住支援

これまで、様々な活動を通じて培った我々のノウハウや組織力では、もはや限界。外部人材

「地域おこし協力隊制度」を活用してはどうか。また、集落支援員制度も、高齢者が多い地域においては、安全・安心の地域をつくる上でも大きな支えになるのではと考える。一方で、外部から人を呼び込むことも、

これからは考える必要があると考える。立石地区にも空き家はあるが、様々な理由で活用されていない。空き家の現状を調査・整理し、移住希望者へ提供してはどうか。

③ 交流人口、関係人口の拡大

尾首や八ツ松など、立石の美しい原風景をこれまで以上に活かす取り組みにより、より多くの方に来て頂ける地域づくりを提案したい。自治会総動員で取り組むことにより、地域に一体感が生まれ、訪れた方々に感動を与えることができる。いつも立石に関わってくれる町外の人達、いわゆる「関係人口」の増加を狙いながら、そこで新たな稼ぐ仕組みが考えられないか。

その一つの手法として、古民家を改修した宿の経営が魅力的。解決すべき課題は多いが、成功すれば地域に新たな産業と

雇用が生まれる可能性がある。

④ 地域防災力の強化

昨年実施した自主防災訓練では初めて図上訓練を行い、地域内の危険箇所を皆で確認し合った。今後は、より行動性の高い訓練、実効性のある計画づくりに住民自らが関わりながら、一人ひとりの防災意識の高揚に努めるとともに、有事の際の避難所運営や避難行動においてリーダーとなる「防災士」の育成にも計画的に取り組むべきだと考えている。

一人の犠牲者も出さない。これこそを、地域の大きな防災目標に掲げたい。(要約)



堂々と意見を述べる本田侑香さん

成人おめでとう！

西本悠雅くん(左) 西本涼雅くん(右) 重松未来さん(中央)



新成人の新たな門出を祝う「内子町成人式」が、1月13日(日)午後2時から内子町共生館で開催され、新成人134名が新成人の誓いを胸に参加しました。

立石では、今年3名の新成人が誕生しました！西本悠雅くん、西本涼雅くん、重松未来さん。成人おめでとうございます！今日のこの日の気持ちをお忘れることなく、これから大いに経験と研鑽を積み、立派な社会人となって力強く社会へと羽ばたいてください。ご家族や立石の皆さんたちがあなた方を力強く応援しています。そして、あなた方が生まれ育ったこの立石を、様々な形や方法で盛り上げていくって欲しいと願っています。これからも頑張ってくださいね。

祝



2月10日(日)～3月16日(土)

# 暮らしの情報カレンダー

各団体の行事予定をはじめ、楽しい話題、珍しい野菜や果物、面白い出来事。なんでも結構です。広報部までどしどしお寄せください。

発行/立石自治会 〒791-3505 愛媛県喜多郡内子町立石 936 番地 TEL 0892-52-2977 E-mail tateishi.j@cococa.plala.or.jp http://www6.plala.or.jp/tateishi/

日	月	火	水	木	金	土
10 ■立石神社 / 楼門落成式 (11:00~)	11 建国記念の日	12 ■行政相談・人権相談 / 林業センター (9:30~) 燃えるゴミ	13	14 資源ゴミ (空き缶)	15 燃えるゴミ	16 内子町社会福祉大会 / 共生館 (9:30~)
17 内子町消防出初式 / 内子運動公園 (9:30~)	18	19 燃えるゴミ	20	21 資源ゴミ (びん、ペットボトル外)	22 燃えるゴミ	23
24 小田地区卓球大会 / 城の台体育館 (9:00~)	25	26 燃えるゴミ	27	28 燃えないゴミ	3/1 小田高校卒業式 燃えるゴミ	2 内子町人権・同和研究会 / 共生館 (9:00~)
3	4	5 燃えるゴミ	6	7 資源ゴミ (古紙)	8 燃えるゴミ	9
10	11	12 ■行政相談 / 林業センター (9:30~) 燃えるゴミ	13	14 資源ゴミ (空き缶)	15 小田中学校卒業式 燃えるゴミ	16

編集 幸記

平成2年5月号を第1号に始まった本紙「会報たていし」。以来、立石の色々な話題を毎月欠かすことなく会員の皆様にお届けし続け、今月号で記念すべき200号を迎えることができました。これもひとえに、自治会員の皆様のご指導・ご協力、そして歴代広報部員の地道な努力の積み重ねであると思っております。これまで、取材・編集にご協力いただきました皆様様に、改めまして厚く御礼申し上げます。

立石自治会ではいま、色々な課題が山積しています。この会報たていしが、地域を盛り上げる一助となればと願い、今後も精進致しますので、どうぞよろしくお願致します。(敦)

●人のうごき (H31.2.1 現在)

世帯数 90 世帯 (0)  
人口 188 人 (0)  
男 83 人 (0)  
女 105 人 (0)  
( ) …前月比

●自治会館等掃除当番

2月 八ツ松、上組  
3月 日浦